D01123001B

TEAC

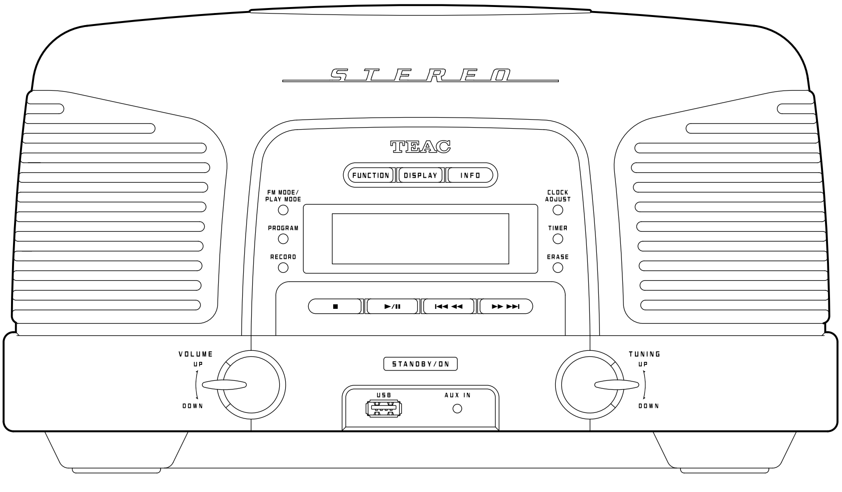
取扱説明書

SL-D920

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

ステレオCDラジオ

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like).
An independent license for such use is required. For details, please visit http://mp3licensing.com.

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

IIS
Fraunhofer Institut
Integrierte Schaltungen

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

目　次

安全にお使いいただくために 3
お使いになる前に 6

ディスクについて 7
USB機器について 8
MP3/WMAについて 9
リモコンの使い方 9

接　続 10
各部の名前とはたらき(本体) 12
各部の名前とはたらき(リモコン) 14

時刻合わせ 16

基本操作 17

ディスクを聴く 18
USBメモリーを聴く 19
基本再生 20
プログラム再生 22
リピート/シャッフル/イントロ再生 24
MP3/WMAファイルの再生順 25

ラジオを聴くには 26
放送局のプリセット 27

接続した機器の音を聴く 28

USBメモリーに録音する 28

USBメモリーからファイルを消去する 30

スリープタイマー 30
目覚まし/録音タイマー 31

困ったときは 33

仕　様 35

保証とアフターサービス 35

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

⚠ 警告	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。**
電源プラグをコンセントから抜け	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは。** **機器の内部に異物や水などが入ったときは。** **この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。
禁止	**電源コードを傷つけない。** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。** コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
分解禁止	**この機器のキャビネットは絶対に外さない。** キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご依頼ください。
	この機器を改造しない。 火災・感電の原因となります。
強制	**この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。** **ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

次のページに続きます

⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
強制	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。** **また、接続は指定のコードを使用する。** それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。
	ヘッドホンを使うときは、電源を入れる前に音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近付けない。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
電源プラグをコンセントから抜け	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

⚠注意	乾電池に関する注意
禁止	**乾電池は絶対に充電しない。** 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

⚠注意	電池に関する注意
強制	**電池を入れるときは、極性表示(プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。** 向きを間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく。 液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない。** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。** 破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。** ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
	分解しない。 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

愛情点検

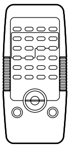
電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

お使いになる前に

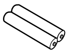
付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室(裏表紙に記載)にご連絡ください。

リモコン(RC-1264)×1



リモコン用乾電池(単4)×2



バックアップ用 コイン型リチウム電池(CR2032)×1

ステレオミニプラグケーブル×1

取扱説明書(本書)×1

保証書×1

使用上の注意

● ディスクが内部に入っているときに、本機を傾けないでください。故障の原因になります。

● 再生中はディスクが高速で回転していますので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

● 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたままの移動は、故障の原因となります。

● 本機がスタンバイ(オフ)状態のときでも、待機電力が消費されます。

● テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

● 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやシンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

ディスクについて

本機で再生できるディスク

「COMPACT disc DIGITAL AUDIO」ロゴマークのあるCD

音楽CDフォーマットで正しく記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。
または、MP3/WMAファイルが記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。

本機は上記のディスクをアダプターなしで再生することができます。上記以外のディスクは再生できません。

⚠ **上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。**

- コピーコントロールCDやDual Discなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

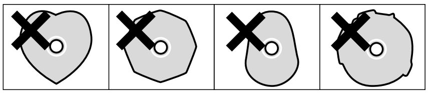
CD-R/CD-RWについて

本機は音楽CDフォーマット(CD-DA)とMP3/WMA形式で記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

- CDレコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。
- CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクの発売元にお問い合わせください。

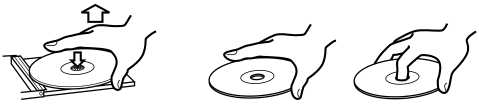
使用上の注意

- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



ディスクの取扱い

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- 信号記録面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



取り出し方　　持ち方

次のページに続きます

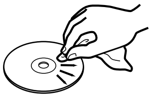
ディスクについて（続き）

ディスクの保存について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
- CD-R/CD-RWは、通常のCDと比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

お手入れ

- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

USB機器について

本機で使用できるUSB機器

- 本機は、USBマススストレージクラスデバイスにのみ対応しています。お使いのUSB機器がUSBマススストレージクラスであるかは、直接USB機器の発売元にお問い合わせください。
- 最大消費電流が、500mA以下の機器のみ使えます。
  ハードディスクドライブやCD/DVDドライブなどは使用できません。
  USBメモリーやUSBメモリープレーヤーをお使いください。
  ※ 本説明書では接続できるUSB機器を「USBメモリー」と記載しています。
- 使用可能フォーマットは、FAT12/16/32です。

注 意

- 最大消費電流が500mA以上の機器は使わないでください。
- セキュリティ機能等の特殊機能がある機器は使わないでください。
- 2つ以上の区画に分かれている機器は使わないでください。
- USBハブを介してUSB機器を使うことはできません。
- 機器の状態によっては正常に動作しないことがあります。

MP3/WMAについて

本機はCD-R/CD-RWやUSB機器に記録されたMP3/WMAファイルを再生することができます。

● 再生可能オーディオファイルフォーマット

MP3 (拡張子「.mp3」)
　ビットレート　8k～320kbps
　サンプリング周波数　16k～48kHz
WMA (拡張子「.wma」)
　ビットレート　48～192kbps
　サンプリング周波数　32、44.1、48kHz

※ DRM(Digital Right Management)には対応していません。

● 2GB以上のファイルは再生できません。

ファイル情報の表示について

本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。

● ファイル情報に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は出来ますがディスプレーに正しく表示できません。

パソコンを使って MP3/WMAファイルを作成する際の注意

● ファイル名には必ず拡張子を付けてください。拡張子のないファイルは認識できません。

● CD-R/CD-RWへの記録後は、クローズセッション(ディスクの作成を完了)してください。クローズセッションされていないディスクは再生できません。

● 本機で対応できる最大曲数は999曲、最大フォルダー数は99です。最大数を超えて記録されている場合は正しく再生できません。

リモコンの使い方

使用上の注意

⚠ **乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。5ページの注意をよく読んでお使いください。**

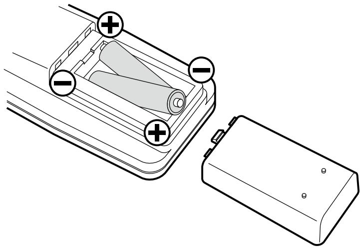
● リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。

● 本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。

● 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖の表示に合わせて乾電池(単4形)2本を入れて、フタを閉めてください。



電池の交換時期

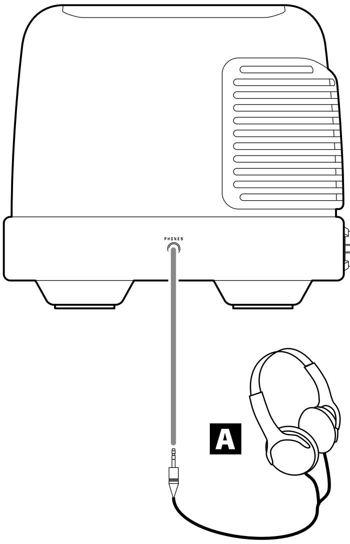
操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

接　続

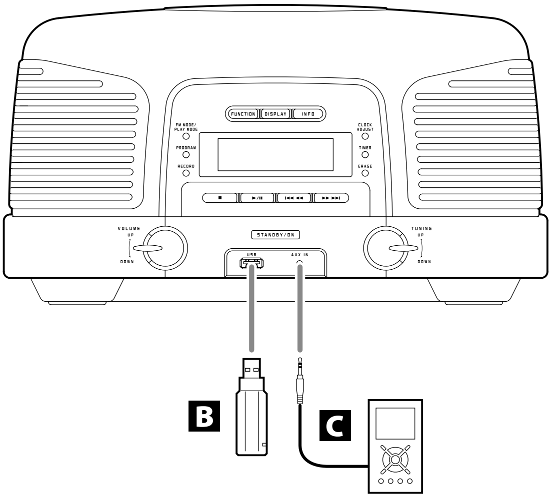
⚠ 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。

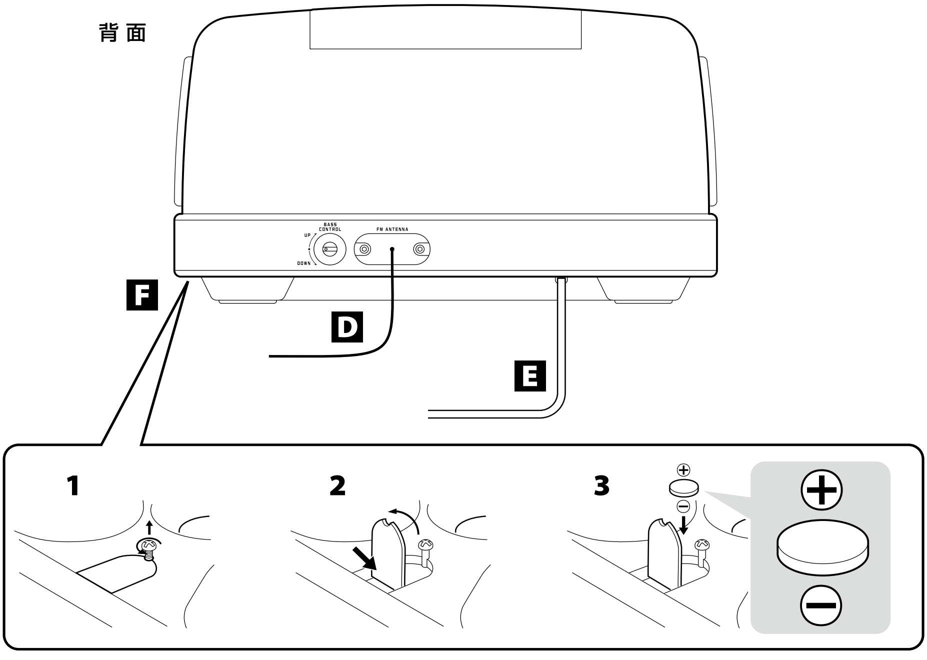
側 面



前 面



背 面



A ヘッドホン端子 (PHONES)

ヘッドホンをお使いになるときは、まず音量を最小にしてからヘッドホンプラグを接続し、徐々に音量を調節してください。ヘッドホン端子の使用中は、スピーカーからは音が出ません。

⚠ 注意

必ず音量を下げてからヘッドホンプラグを差し込み、ヘッドホンを装着してください。また、ヘッドホンを耳にかけたまま、電源のオン/オフや、ヘッドホン端子の抜き差しを行わないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。

B USB端子 (USB)

MP3/WMAファイルを保存しているUSBメモリーを接続します。

C 音声入力端子 (AUX IN)

付属のステレオミニプラグケーブルを使って、携帯型オーディオプレーヤーなどのヘッドホン端子(または音声出力端子)と接続して、本機で音声を再生します。

- プレーヤーのヘッドホン端子と接続した場合は、プレーヤー側の音量を調節しないと、本機から音が聴こえないこがあります。
- プレーヤー側の音量を上げすぎると、音が歪むことがあります。その場合は、まず接続した機器の音量を歪みが無くなるまで小さくしてから、本機の音量を調節してください。

D FMアンテナ

FM放送の受信中にこのアンテナを伸ばして、受信状態が一番良い位置を探してください。
本機の置き場所を変えたときは、再調整してください。

E 電源コード

全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠ 注意

交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

F バックアップ用電池ケース

停電時や電源プラグが抜かれたときに、本機の時計、FM/AM放送局のプリセット、目覚まし/録音タイマーの設定を一時的にバックアップするための電池を収納します。

コイン型リチウム電池の入れ方

左のページの図のように、ケースのふたをプラスドライバーで外し、電池の⊕の表示を上にして入れてください。

電池の交換時期

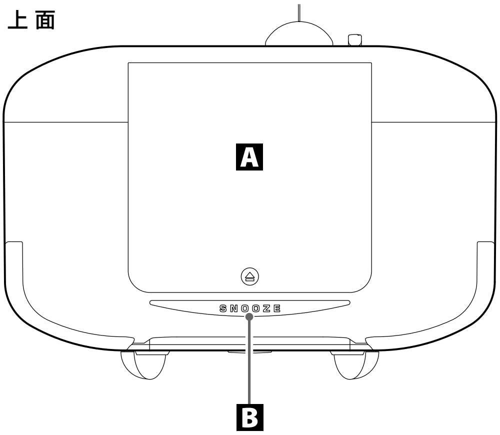
正しい時刻が表示されなくなってきたら、新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

⚠ 注意

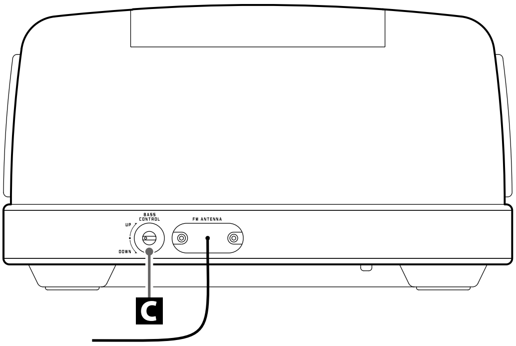
電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。5ページの注意をよく読んでお使いください。

各部の名前とはたらき(本体)

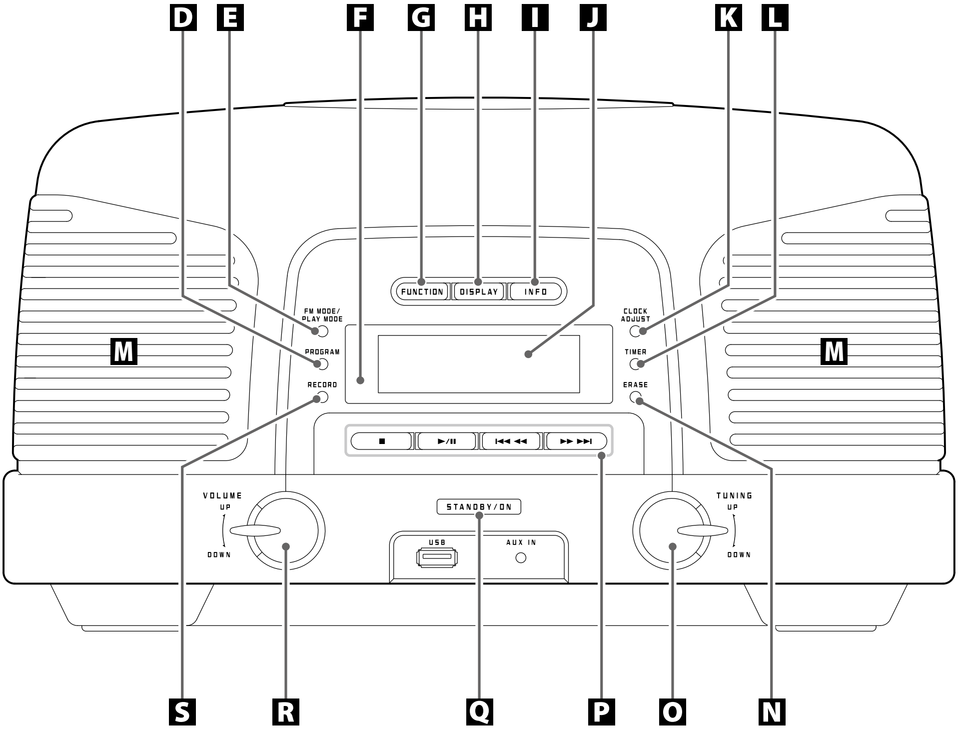
上面



背面



前面



A ディスクカバー

▲マークを押すとカバーが上に開きます。

B スヌーズボタン(SNOOZE)

目覚ましタイマーがオンになったときにこのボタンを押すと、5分間スタンバイ(電源オフ)状態になります。

また、ディスプレーの明るさを切り換えます。

C BASSコントロールつまみ(BASS CONTROL)

内蔵サブウーハーの音量(低音)を調節するのに使います。

D プログラムボタン(PROGRAM)

CDモード、USBモードでプログラム再生に使います。(22ページ)

ラジオ(AM、FM)の放送局をプリセットするのに使います。(27ページ)

E FMモード(FM MODE)/
プレイモードボタン(PLAY MODE)

FMラジオ受信中に、ステレオとモノラルを切り換えます。

CDモード、USBモードでリピート再生、シャッフル再生、イントロ再生(曲の頭の部分だけを連続して再生)に使います。(24ページ)

F リモコン受光部

リモコンを使用するときは、リモコンの先端をここに向けて操作してください。

G 入力切換ボタン(FUNCTION)

このボタンを押すたびに、

→ CD → USB → FM → AM → AUX ─┘

の順番で入力ソースが切り換わります。

H ディスプレーボタン(DISPLAY)

時計を表示するのに使います。

I 情報ボタン(INFO)

CDモード、USBモードでMP3/WMAの曲の情報を表示するのに使います。(21ページ)

J ディスプレー

時計や曲名などを表示します。

K 時刻合わせボタン(CLOCK ADJUST)

時計の時刻を合わせるのに使います。(16ページ)

L タイマーボタン(TIMER)

目覚ましタイマーの設定に使います。(31ページ)

M スピーカー (ステレオ)

N 消去ボタン(ERASE)

接続したUSBメモリー内のファイルを消去するのに使います。(30ページ)

O 選局つまみ(TUNING)

ラジオ(AM、FM)の選局に使います。

CDモード、USBモードでフォルダーを選ぶのに使います。(MP3/WMAディスクとUSBメモリーのみ)

P CD、USBメモリー操作ボタン

停止ボタン(■)
CD/USBメモリーの再生を停止します。

再生/一時停止ボタン(▶/❚❚)
CD/USBメモリーを再生または一時停止します。

スキップ/サーチボタン(⏮ ◀◀/▶▶ ⏭)
CD/USBメモリーの選曲に使います。▶▶ ⏭を押すと前の曲にスキップし、⏮ ◀◀を押すと後ろの曲にスキップします。
再生中に▶▶ ⏭を押し続けると早送り、⏮ ◀◀を押し続けると早戻しします。

AM、FMモードでは放送局をプリセットするのに使います。またプリセットした放送局を選ぶのに使います。(27ページ)

Q 電源ボタン(STANDBY/ON)

電源のオン/スタンバイ(オフ)を切り換えます。

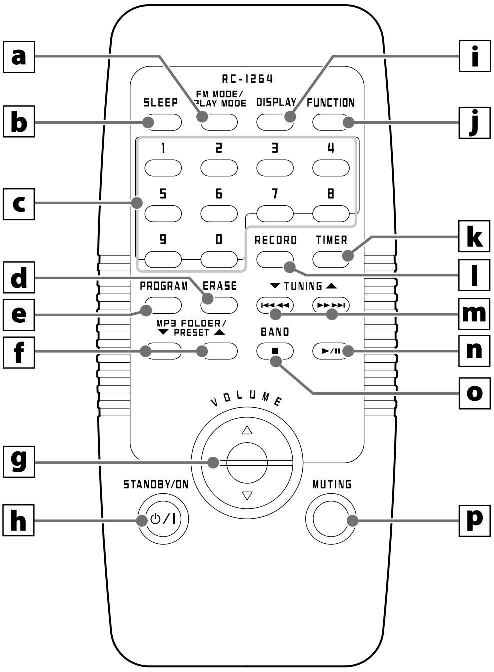
R 音量つまみ(VOLUME)

音量を調節します。
上に上げると音が大きくなり、下に下げると小さくなります。

S 録音ボタン(RECORD)

USBメモリーに録音するときに使います。(29ページ)

各部の名前とはたらき(リモコン)



本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

a FMモード(FM MODE)/
プレイモードボタン(PLAY MODE)

FMラジオ受信中に、ステレオとモノラルを切り換えます。

CDモード、USBモードでリピート再生、シャッフル再生、イントロ再生(曲の頭の部分だけを連続して再生)に使います。(24ページ)

b スリープボタン(SLEEP)

スリープタイマーの設定に使います。(30ページ)

c 数字ボタン(1〜0)

CDモード、USBモードで再生したい曲番を選ぶのに使います。(21ページ)

プリセットしたラジオ放送曲(AM、FM)を選ぶときに使います。(27ページ)

d 消去ボタン(ERASE)

接続したUSBメモリーのファイルを消去するときに使います。(30ページ)

e プログラムボタン(PROGRAM)

CDモード、USBモードでプログラム再生に使います。(22ページ)

ラジオ放送曲(AM、FM)をプリセットするときに使います。(27ページ)

f MP3フォルダー (MP3 FOLDER)/
プリセット(PRESET)(▲/▼)ボタン

CDモード、USBモードでフォルダーを選ぶのに使います。(MP3/WMAディスクとUSBメモリーのみ)

プリセットしたラジオ放送曲(AM、FM)を選ぶときに使います。(27ページ)

g 音量ボタン(VOLUME)

音量を調節します。

h 電源ボタン(STANDBY/ON)(⏻/|)

電源のオン/スタンバイ(オフ)を切り換えます。

i ディスプレーボタン(DISPLAY)

時計を表示するのに使います。

j 入力切換ボタン(FUNCTION)

このボタンを押すたびに、

→ CD → USB → FM → AM → AUX ─┐（AUXからCDへ戻る）

の順番で入力ソースが切り換わります。

k タイマーボタン(TIMER)

目覚ましタイマーの設定に使います。(31ページ)

l 録音ボタン(RECORD)

USBメモリーに録音するときに使います。(29ページ)

m 選局(TUNING)(▲/▼)
スキップ/サーチ(|◀◀ ◀◀/▶▶ ▶▶|)ボタン

ラジオ(AM、FM)の選局に使います。

CDモード、USBモードで選曲に使います。▶▶ ▶▶|を押すと前の曲にスキップし、|◀◀ ◀◀を押すと後ろの曲にスキップします。
再生中に▶▶ ▶▶|を押し続けると早送り、|◀◀ ◀◀を押し続けると早戻しします。

n 再生/一時停止ボタン(▶/❚❚)

CDモード、USBモードで、再生または一時停止します。

o バンド(BAND)/
停止(■)ボタン

ラジオ受信時にAM、FMを切り換えます。

CDモード、USBモードで再生を停止します。

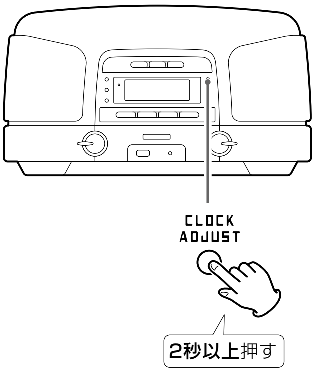
p 消音ボタン(MUTING)

一時的に音を消します。

時刻合わせ

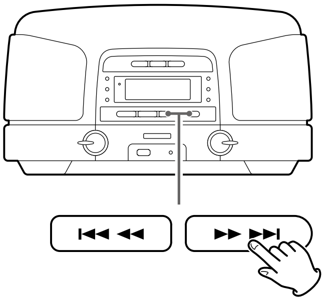
お使いになる前に、現在時刻の設定をしてください。
電源がオン/スタンバイ(オフ)のどちらの状態でも設定できます。

1 **時刻合わせボタン(CLOCK ADJUST)を2秒以上押す。**



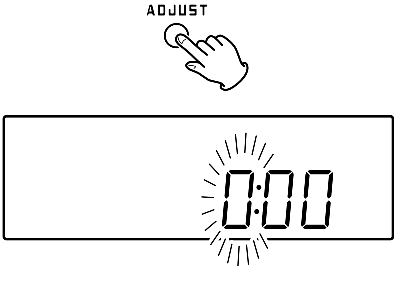
「12H(12時間)」または「24H(24時間)」がディスプレーに点滅したら指を離してください。

12時間表示と24時間表示を切り換えるには、スキップボタン(I◀◀ ◀◀/▶▶ ▶▶I)を押してください。



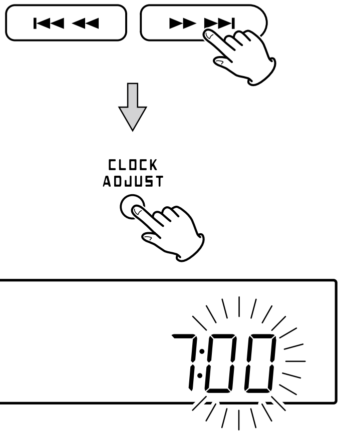
- 10秒以上放置すると、時刻合わせモードは解除されます。

2 **時刻合わせボタン(CLOCK ADJUST)を押す。**



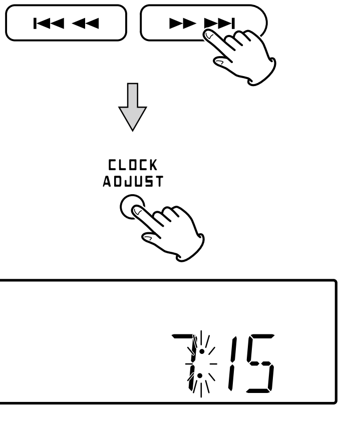
「時」表示が点滅します。

3 **スキップボタン(I◀◀ ◀◀/▶▶ ▶▶I)を押して「時」を合わせ、時刻合わせボタン(CLOCK ADJUST)を押す。**



「分」表示が点滅します。

4 **スキップボタン(I◀◀ ◀◀/▶▶ ▶▶I)を押して「分」を合わせ、時刻合わせボタン(CLOCK ADJUST)を押す。**



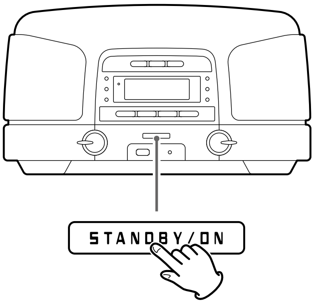
時刻合わせが終了し、合わせた「分」の0秒からスタートします。

- 時計は、電源がスタンバイ(オフ)のときと、AUX(外部入力)モードのときは常にディスプレーに表示されます。それ以外のときはディスプレーボタン(DISPLAY)を押すと数秒間表示されます。
- 停電時や電源プラグからコンセントが抜かれたときにバックアップ用電池(11ページ)が切れていると、設定した時刻の記憶は消去されます。

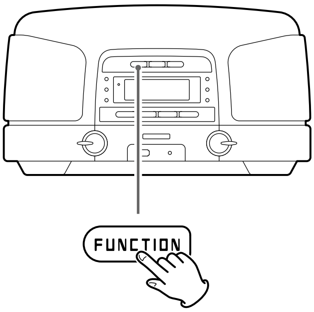
基本操作

ここでは、全モード共通の操作を説明します。

1 電源ボタン(STANDBY/ON)を押して電源をオンにする。



2 入力切換ボタン(FUNCTION)を押して、ソースを選ぶ。

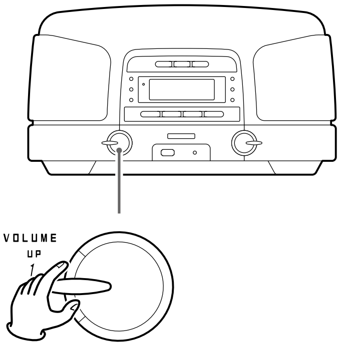


このボタンを押すたびに、

→ CD → USB → FM → AM → AUX ─┘

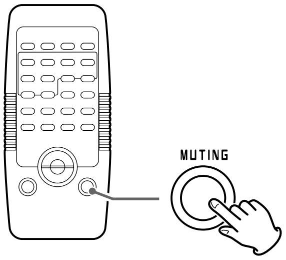
の順番で入力ソースが切り換わります。

3 ソースを再生し、音量つまみ(VOLUME)を回して音量を調節する。



一時的に音を消す

一時的に音を消すことができます。

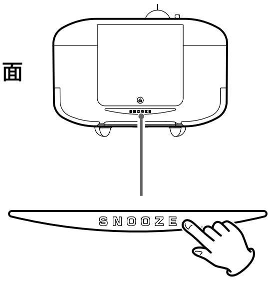


消音ボタン(MUTING)を押します。再度押すと元の音量に戻ります。

- 消音中は、ディスプレーに「MUTING」が点灯します。
- 消音中に音量を変更したり、ソースを切り換えると、消音は解除されます。

ディマー

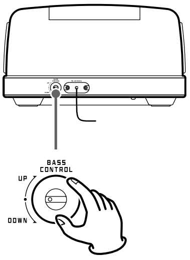
上 面



スヌーズボタン(SNOOZE)を押すと、ディスプレーの明るさが切り換わります。
電源がスタンバイ(オフ)のときでも切り換えられます。

低音を調節する

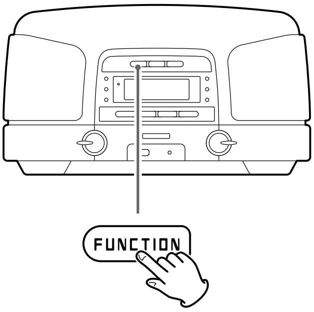
背 面



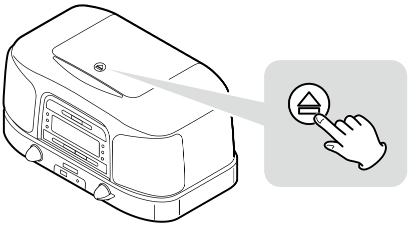
背面のBASSコントロールつまみ(BASS CONTROL)を回して、内蔵サブウーハーの音量を調節します。

ディスクを聴く

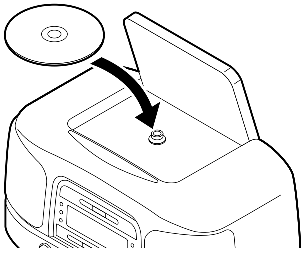
1 入力切換ボタン(FUNCTION)を押して「CD」を選ぶ。



2 ⏏マークを押してディスクカバーを開ける。

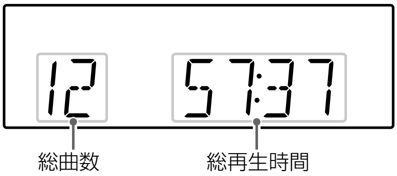


3 ディスクのレーベル面を上にして中央にセットし、カバーを閉める。

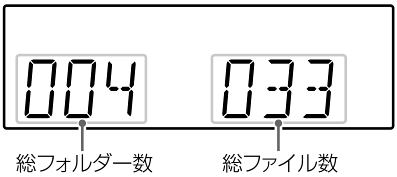


- 複数のディスクを一度に挿入しないでください。故障の原因になります。
- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。読込みの間は全てのボタンが機能しません。
- ディスクがセットされていないときは、「NO DISC」が表示されます。

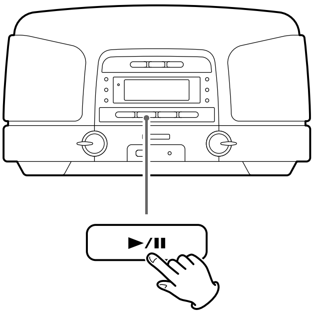
オーディオCD



MP3/WMAディスク



4 再生/一時停止ボタン(►/II)を押して、再生を始める。



1曲目から再生が始まります。

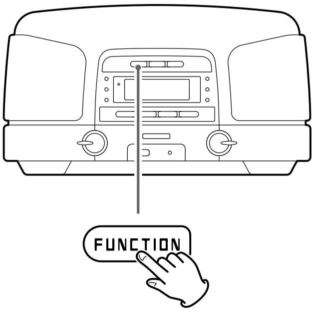
- フォルダーに入っていないMP3/WMAファイルは、「01(ROOT)」フォルダーにあります。再生は「01(ROOT)」フォルダーの1曲目から始まります。
- MP3/WMAファイルの再生順については、25ページをご覧ください。
- 全ての曲の再生が終わると、自動的に停止します。

⚠ **再生中は絶対にディスクカバーを開けないでください。ディスクが飛び出してケガや故障の原因となる恐れがあります。**

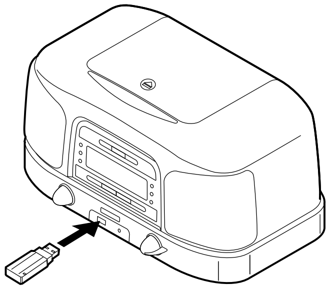
USBメモリーを聴く

本機で使用できるUSB機器については、8ページをご覧ください。

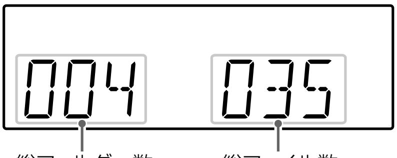
1 入力切換ボタン(FUNCTION)を押して「USB」を選ぶ。



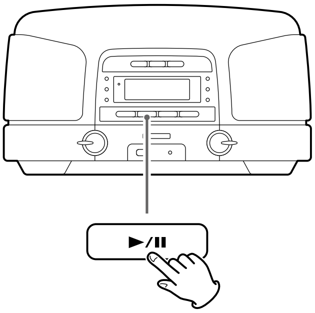
2 USB端子にUSBメモリーを接続する。



- USBメモリーの読み込みには多少時間がかかります。読込みの間は全てのボタンが機能しません。
- **1** と **2** の手順を逆にすることもできます。



3 再生/一時停止ボタン(►/II)を押して、再生を始める。



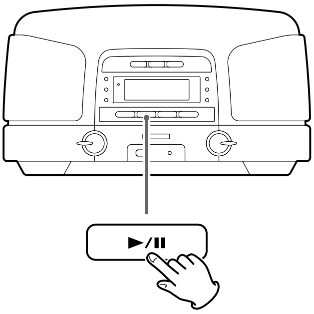
最初のファイルから再生が始まります。

- フォルダーに入っていないMP3/WMAファイルは、「01(ROOT)」フォルダーにあります。再生は「01(ROOT)」フォルダーの1曲目から始まります。
- MP3/WMAファイルの再生順については、25ページをご覧ください。
- 全ての曲の再生が終わると、自動的に停止します。

CD USB

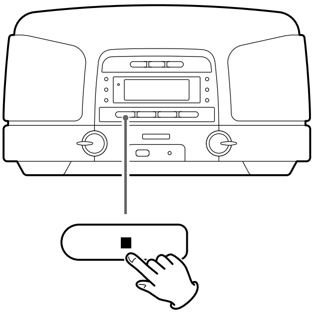
基本再生

再生を一時停止する



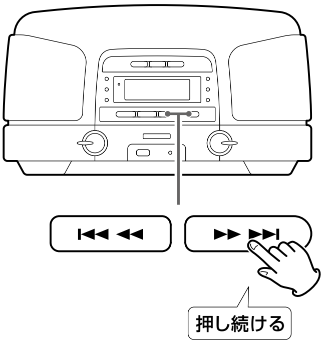
再生中に再生/一時停止ボタン(▶/❚❚)を押すと再生が一時停止します。
一時停止中に再生/一時停止ボタン(▶/❚❚)を押すと、再び再生を始めます。

再生を停止する



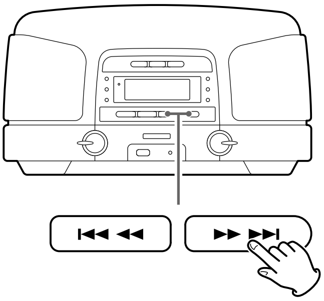
停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。

早送り/早戻しする



再生中にスキップボタン(|◀◀ / ▶▶|)を押したままでいると、早送り/早戻しができます。指をはなすと、そこから再生が始まります。

曲をスキップする



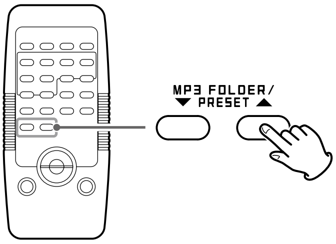
再生中にスキップボタン(|◀◀ / ▶▶|)を押すと、前または後ろの曲にスキップします。希望する曲になるまで、続けて押してください。
選択された曲の始めから再生を始めます。

停止中は、|◀◀ ◀◀または▶▶ ▶▶|をくり返し押して希望の曲番を選んだあと、再生一時停止ボタン(▶/❚❚)を押すと再生が始まります。

- 再生中は、|◀◀ を1回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、|◀◀ を続けて押してください。
  前の曲を再生したいときは、|◀◀ を2回押してください。

- プログラム再生(22ページ)中は、プログラム中の前または後ろの曲にスキップします。

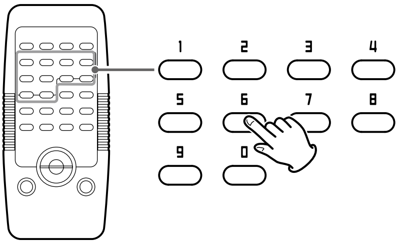
フォルダーを選ぶ
(MP3/WMAディスク、USBメモリーのみ)



MP3フォルダーボタン(MP3 FOLDER)(▲/▼)を使ってフォルダーを選びます。

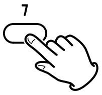
● 本体正面の選局つまみ(TUNING)も使えます。

数字ボタンで曲番を選んで再生する

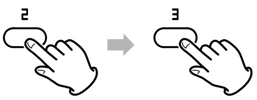


再生中または停止中に、数字ボタンを押して曲番/ファイル番号を選んで再生できます。

曲番/ファイル番号 7:



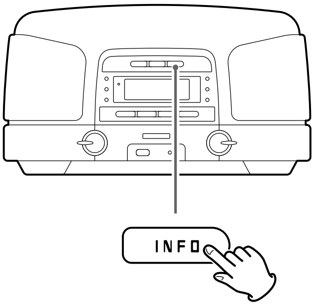
曲番/ファイル番号 23:



選んだ曲番が自動的に再生されます。

● プログラム再生(22ページ)中、またはシャッフル再生(25ページ)中は数字ボタンでの選曲はできません。

ディスプレーの切換え
(MP3/WMAディスク、USBメモリーのみ)



再生中に情報ボタン(INFO)を押す度に、以下のファイル情報が切り替わり、表示されます。

ファイル名 (スクロール表示)
↓
タイトル (スクロール表示)
↓
アーティスト (スクロール表示)
↓
アルバム (スクロール表示)
↓
再生中のフォルダー番号､ファイル番号

● 再生中のフォルダー /ファイル番号の表示中に、2秒間何も操作をしないでいると、通常の表示(再生経過時間)に戻ります。

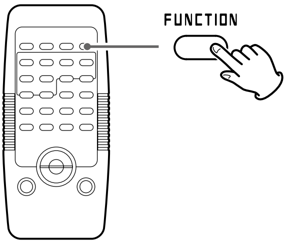
● タイトル/アーティスト/アルバムの最初の30文字が表示されます。

● ファイル情報に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われいる場合、再生はできますがディスプレーには正しく表示されません。

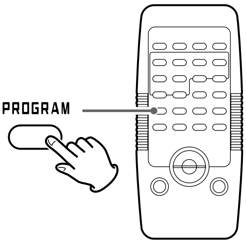
プログラム再生

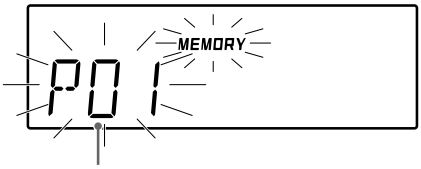
再生したい順番に32曲までプログラムすることができます。

1 入力切換ボタン(FUNCTION)を押して「CD」または「USB」を選ぶ。



2 停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を押す。





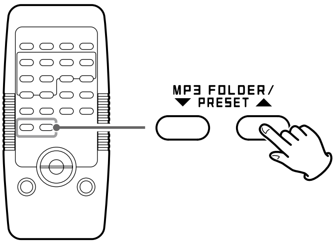
プログラム番号

プログラム番号とMEMORYインジケーターが点滅します。

● プログラムを中止するには、停止ボタン(■)を押します。

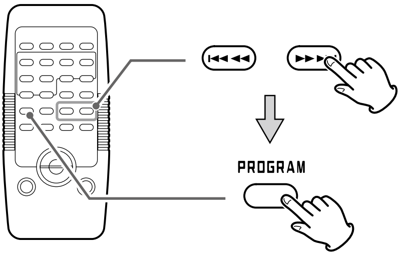
3 (MP3/WMAファイルのプログラムの場合)

MP3フォルダー (MP3 FOLDER)(▲/▼)を押して、MP3/WMAディスク、またはUSBメモリーのフォルダーを選ぶ。



● フォルダーに入っていないMP3/WMAファイルは、「01(ROOT)」フォルダーにあります。

4 スキップボタン(⏮/⏭)を押して曲を選び、プログラムボタン(PROGRAM)を押す。

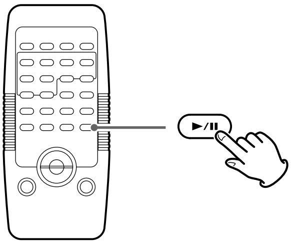


選択した曲がプログラムされ、「P02」が表示されます。

● 複数の曲をプログラムするには、**3**〜**4** の手順を繰り返してください。

● 「P01」のプログラムを終えた後にプログラムを中止するには、停止ボタン(■)を2回押します。

5 プログラムが終わったら、再生/一時停止ボタン(►/II)を押してプログラム再生を始める。



● プログラム再生が終了した後に、再びプログラム再生をするには、プログラムボタン(PROGRAM)を押してから、再生/一時停止ボタン(▶/❚❚)を押します。

● プログラム再生を中止するには、停止ボタン(■)を2回押します。この場合、プログラム内容は保持されます。

● プログラム再生中にスキップボタン(⏮ / ⏭)を押して、プログラム中の他の曲を選ぶことができます。

● プログラム再生中にシャッフル再生、イントロ再生(24ページ)はできません。

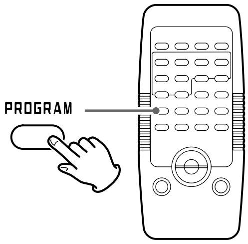
● 本機にはCDからUSBメモリーへの録音機能があり、プログラムした順番で録音することができます。録音方法は29ページをご覧ください。

全てのプログラム内容の消去

以下の場合、全てのプログラム内容が消去されます。

➡ 電源がスタンバイ(オフ)になったとき
➡ 入力切換ボタン(FUNCTION)を押してソースを切り換えたとき
➡ ディスクカバーを開けたとき(CDの場合)
➡ USBメモリーを抜いたとき(USBの場合)

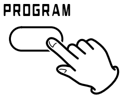
プログラムの順番をチェックする



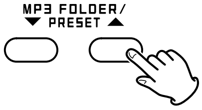
停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を押すたびに、プログラム番号とプログラムした曲番が順番に表示されます。

プログラムの最後に曲を追加するには

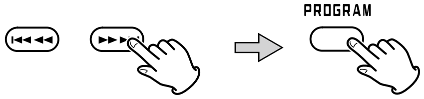
停止中に、点滅しているプログラム番号**「PXX」が表示されるまで**プログラムボタン(PROGRAM)を繰り返し押します。



(MP3/WMAファイルのプログラムの場合)
MP3フォルダー (MP3 FOLDER)(▲/▼)を押して、追加したい曲のあるフォルダーを選ぶ。



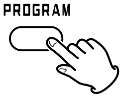
スキップボタン(⏮ / ⏭)を押して追加したい曲を選び、プログラムボタン(PROGRAM)を押す。



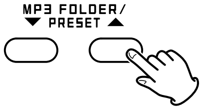
選択した曲がプログラムの最後に追加されます。

プログラムの一部を書き換える

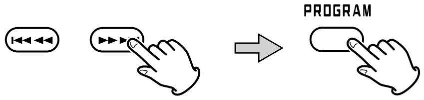
停止中に、**書き換えたいプログラム番号が表示されるまで**プログラムボタン(PROGRAM)を繰り返し押します。



(MP3/WMAファイルのプログラムの場合)
MP3フォルダー (MP3 FOLDER)(▲/▼)を押して、新しく上書きしたい曲のあるフォルダーを選ぶ。

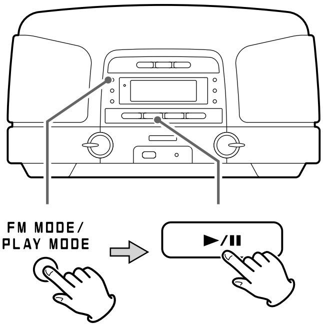


スキップボタン(⏮ / ⏭)を押して新しく上書きしたい曲を選び、プログラムボタン(PROGRAM)を押す。



選択した曲に書き換えられます。

リピート/シャッフル/イントロ再生



プレイモードボタン(PLAY MODE)を押すたびに、以下のように再生モードが変わります。

オーディオCD

REPEAT (1曲リピート)
↓
REPEAT ALL (全曲リピート)
↓
SHUFFLE (シャッフル)
↓
INTRO (イントロ)
↓
オフ (通常再生)

MP3/WMAディスク、USBメモリー

REPEAT (1曲リピート)
↓
REPEAT ALL (全曲リピート)
↓
REPEAT FOLDER (フォルダーリピート)
↓
SHUFFLE (シャッフル)
↓
INTRO (イントロ)
↓
オフ (通常再生)

聴きたいモードになったら再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押して再生を始めます。

- 再生中にプレイモードボタン(PLAY MODE)を押して再生モードを切り換えることもできます。

- 以下の場合に、再生モードはキャンセルされます。
  - ➡ 電源がスタンバイ(オフ)になったとき
  - ➡ 入力切換ボタン(FUNCTION)を押してソースを切り換えたとき
  - ➡ 停止ボタン(■)を押したとき
  - ➡ ディスクカバーを開けたとき(CDの場合)
  - ➡ USBメモリーを抜いたとき(USBの場合)

リピート再生

REPEAT(1曲リピート)

再生中にプレイモードボタン(PLAY MODE)を1度押すと、ディスプレーに「REPEAT」と表示され、再生中の曲が繰返し再生されます。

- 1曲リピート再生中にスキップボタン(⏮/⏭)を使って他の曲を選んだ場合は、その曲をくり返し再生します。

- 停止中は、プレイモードボタン(PLAY MODE)を押してからスキップボタンスキップボタン(⏮/⏭)で曲を選び、再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと、1曲リピート再生を始めます。

- プログラム再生中は、再生中の曲が繰返し再生されます。

REPEAT ALL(全曲リピート)

プレイモードボタン(PLAY MODE)を2度(MP3/WMAファイルの場合は3度)押します。
ディスプレーに「REPEAT ALL」と表示され、全曲が繰返し再生されます。

- プログラム再生中は、プログラムした曲が繰返し再生されます。

REPEAT FOLDER(フォルダーリピート)
(MP3/WMAディスク、USBメモリーのみ)

プレイモードボタン(PLAY MODE)を2度押します。
ディスプレーに「REPEAT FOLDER」と表示され、選択中のフォルダーの曲が繰返し再生されます。

シャッフル再生

ディスク/USBメモリーの全曲がランダムに再生されます。

SHUFFLE(シャッフル)

ディスプレーに「SHUFFLE」と表示されるまで、プレイモードボタン(PLAY MODE)を繰返し押します。

- シャッフル再生中に ►►I ボタンを押すと、次の曲がランダムに選択されます。
  I◄◄ ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻ります。
- プログラム再生中は、シャッフル再生はできません。

イントロ再生

曲の頭の部分だけを連続して再生することができます。

INTRO(イントロ)

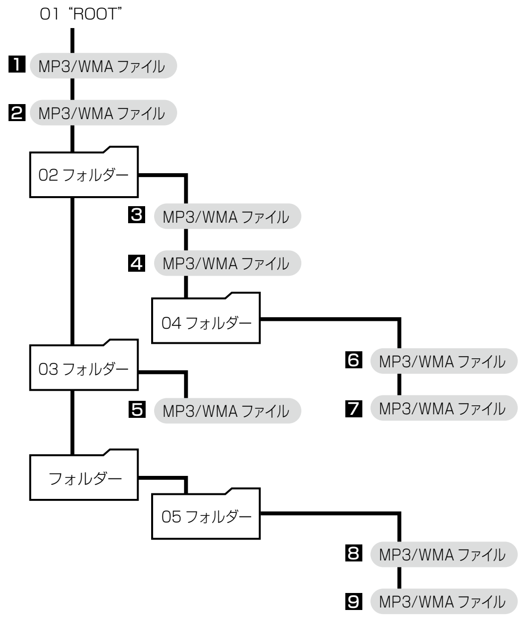
ディスプレーに「INTRO」と表示されるまで、プレイモードボタン(PLAY MODE)を繰返し押します。
各曲の冒頭部分が順番に10秒ずつ再生されます。

- プログラム再生中は、イントロ再生はできません。

MP3/WMAファイルの再生順

MP3/WMAファイルを記録したCDやUSBメモリーには、通常のパソコンのファイルの扱いと同じように、MP3/WMAファイルをフォルダーに格納しているものがあります。さらに、いくつかのフォルダーをまとめて1つのフォルダーに格納しているものもあります。

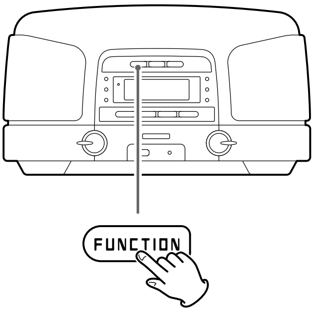
MP3/WMAファイルが記録されたディスクやUSBメモリーをノーマル再生する場合の、フォルダー番号とファイルの再生順(1～9)の例



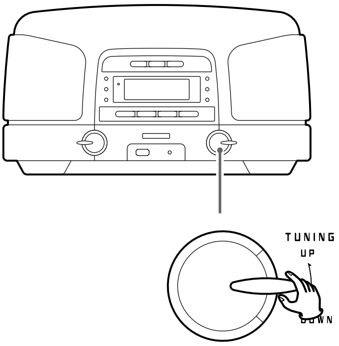
- 上記の図の順番は、ファイルやフォルダーを追加/削除したり、位置を変えたりすることによって変わることがあります。
- USBメモリーの中のファイルの管理は、FAT(ファイル アロケーション テーブル)で行われており、パソコン上で見える構造とは異なるため、本機での再生順が上記の図の順番通りにならないことがあります。

ラジオを聴くには

1 機能切換ボタン(FUNCTION)を繰り返し押して、「FM」または「AM」を選ぶ。



2 選局つまみ(TUNING)を使って選局する。



自動選局

選局つまみ(TUNING)を上または下にして、ディスプレーの周波数表示が変わり始めたら指をはなしてください。
自動的に放送局を受信して周波数表示が止まります。
聴きたい放送局が受信されるまで、この操作をくり返してください。

- 中断したい場合は、選局つまみを軽く上下してください。
- リモコンの選局ボタン(TUNING)(▲/▼)も同じように使えます。

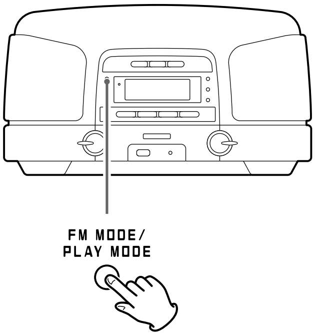
マニュアル選局

自動選局できない局を受信したい場合は、選局つまみ(TUNING)少しずつ上下して聴きたい放送局を選びます。
聴きたい放送局が受信されるまで繰返してください。

- リモコンの選局ボタン(TUNING)(▲/▼)も同じように使えます。選局ボタン(TUNING)(▲/▼)を軽く押すと、周波数は一定のステップで変わります。聴きたい放送局が受信されるまで繰り返し押してください。

FMモード

FMモードボタン(FM MODE)を押すたびに、FM放送のステレオ受信とモノラル受信が切り換わります。



STEREO(ステレオ)

FMステレオ放送をステレオで受信します。
FMステレオ放送の受信中はディスプレーに「STEREO」と表示されます。

MONO(モノラル)

FM放送をモノラルで受信します。
ステレオ放送の受信状態が悪いときはこのモードを選んでください。音はモノラルになりますがノイズを減らすことができます。

受信状態が悪いときは

FM放送の受信状態が悪いときは、FMアンテナの向きを変えてみてください。

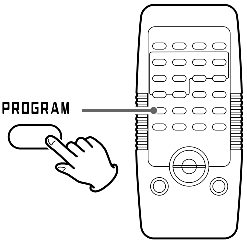
AMアンテナは本体に内蔵されています。AM放送の受信状態が悪いときは、本体の向きを変えてみてください。

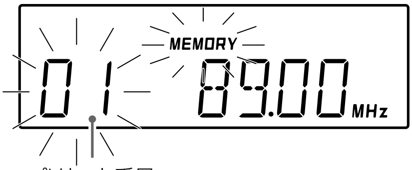
放送局のプリセット

よく聴く局を、FM20局、AM20局まであらかじめ登録(プリセット)しておくことができます。

1 登録したい放送局を受信する。(前のページ)

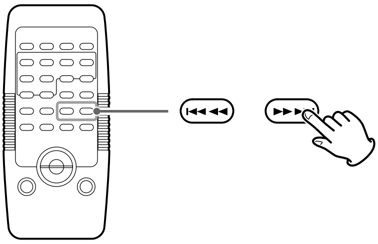
2 プログラムボタン(PROGRAM)を押す。

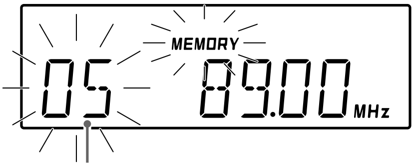




プリセット番号

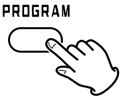
3 5秒以内に、スキップボタン(⏮/⏭)を押して、受信中の放送局を登録したいプリセット番号を選ぶ。





登録したいプリセット番号

4 10秒以内に、プログラムボタン(PROGRAM)を押す。



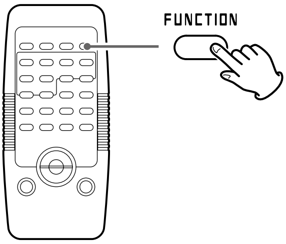
放送局が記憶されて、プリセット番号と「MEMORY」が点滅をやめます。

他の放送局をさらに登録するときは、**1** から **4** の手順を繰り返します。

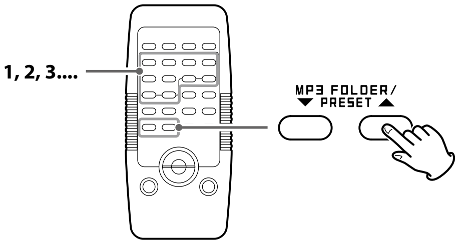
● 停電時や電源プラグからコンセントが抜かれたときにバックアップ用電池(11ページ)が切れていると、プリセット登録情報が消去されます。

登録した放送局を聴く

1 機能切換ボタン(FUNCTION)を繰り返し押して、「FM」または「AM」を選ぶ。



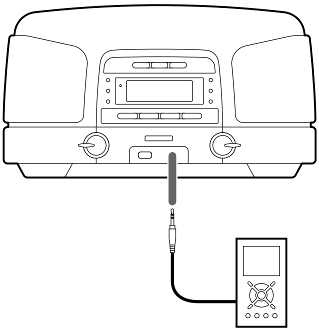
2 数字ボタン、またはプリセットボタン(PRESET)(▲/▼)を押して、登録した放送局を選ぶ。



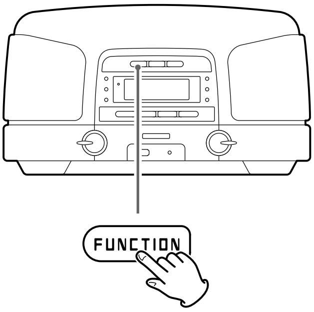
接続した機器の音を聴く

携帯型オーディオプレーヤーなどの音声出力端子またはヘッドホン端子と接続して、本機で音声を再生します。

1 **本機のアナログ音声入力端子(AUX)と携帯型オーディオプレーヤーなどのヘッドホン端子(または音声出力端子)とを、付属のステレオミニプラグケーブルで接続する。**



2 **入力切換ボタン(FUNCTION)を押して「AUX」を選ぶ。**



3 **再生を始め、本機と接続した機器の両方で音量を調節する。**

- プレーヤーのヘッドホン端子と接続した場合は、プレーヤー側の音量を調節しないと、本機から音が聴こえないこがあります。
- プレーヤー側の音量を上げすぎると、音が歪むことがあります。その場合は、まず接続した機器の音量を歪みが無くなるまで小さくしてから、本機の音量を調節してください。

USBメモリーに録音する

録音の前に

本機では、CDやラジオ、接続した外部入力機器(携帯型オーディオプレーヤーなど)の音声をMP3形式にして、USBメモリーに録音することができます。

録音するときのご注意

- 録音中にUSBメモリーを取り外したり電源コードを抜かないでください。故障の原因となります。
- 適切な音量で録音するために、録音するソースの音量をあらかじめ調節してください。
- USBメモリーの空き容量がない場合や、USBメモリーがロックされている場合は録音できません。
- 本機でUSBメモリーの空き容量を確認することはできません。録音の前に、あらかじめパソコンで確認してください。

録音されるファイルについて

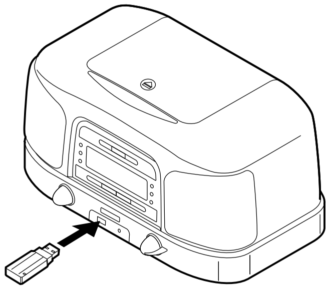
- 録音されたファイルは「RECORD」フォルダーに記録されます。さらに、録音ソースによって「CDRECE」「LINE_I」、または「COPY_E」サブフォルダーが生成され、その中にMP3ファイルが保存されます。
  ファイル名は、以下のように自動的に記録されます。

RECORD (root)
- CDRECE01(オーディオCDからの録音)
  - FILE_001.MP3
  - FILE_002.MP3
  - FILE_003.MP3
- CDRECE02
  - FILE_001.MP3
  - FILE_002.MP3
  - FILE_003.MP3
- LINE_I01 (ラジオ、または外部入力からの録音)
  - FILE_001.MP3
  - FILE_002.MP3
  - FILE_003.MP3
- LINE_I02
- COPY_E_01(MP3/WMAからの録音)

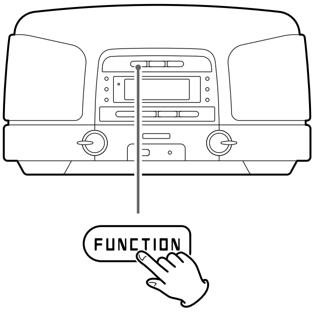
- 本機では1つのUSBメモリーに、99フォルダー/999ファイルまで記録することができます。ただし、USBメモリーにすでにフォルダー/ファイルがある場合、そのフォルダー/ファイル数と合わせて99フォルダー/999ファイルまで録音可能です。

録音する

1 USBメモリーを接続する。

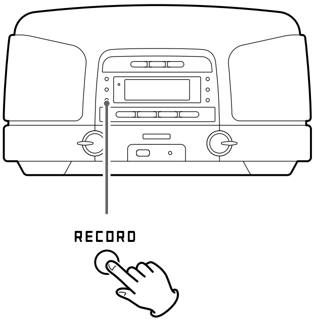


2 入力切換ボタン(FUNCTION)を押して録音するソースを選択する。
(「CD」、「AM」、「FM」、または「AUX」)



- ラジオからの録音の場合、録音したい放送局を受信してください。(26ページ)
- 外部入力機器からの録音の場合、録音したいソースを再生してください。(前のページ)
  その場合、録音レベル(録音の音量)は外部入力機器の出力音量によって決まります。本機では調節できませんので、試し録音をして、適切な録音レベルに調節してください。
- CDからの録音では、プログラムした順番で録音することができます。プログラム方法については22ページをご覧ください。この場合、プログラムした後に停止ボタン(■)を押してください。(MEMORYインジケーターが点灯します)

3 録音ボタン(RECORD)を押して、録音を開始する。



- CDからの録音の場合、自動的に再生が始まります。
- 外部入力機器からの録音の場合を除き、録音レベル(録音の音量)は一定のレベルに固定されます。
- 録音中は、録音ボタン(RECORD)と音量つまみ(VOLUME)のみが有効です。
  音量つまみ(VOLUME)で調節できるのは本機のスピーカーの音のみです。録音レベルは調節できません。

4 録音ボタン(RECORD)を押して、録音を停止する。

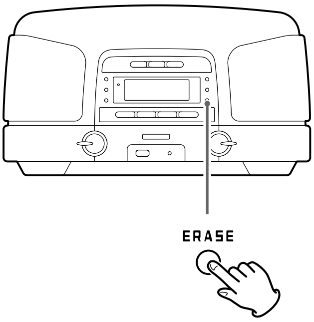
- タイマーを使って録音することもできます。(31ページ)

USBメモリーからファイルを消去する

接続したUSBメモリーのファイルを消去することができます。

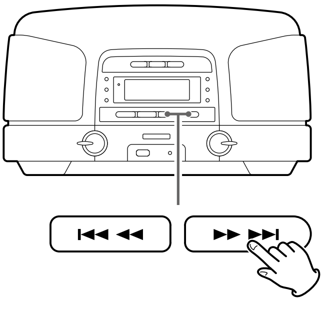
1 USBメモリーの消したいファイルを再生する。(19ページ)

2 消去ボタン(ERASE)を押す。



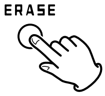
ディスプレーに「CANCEL(キャンセル)」と表示されます。
消去をキャンセルしたいときは、消去ボタン(ERASE)を押します。

3 スキップボタン(⏮ ◀◀または▶▶ ⏭)を押す。



ディスプレーに「ERASE(消去)」と表示されます。

4 10秒以内に消去ボタン(ERASE)を押す。

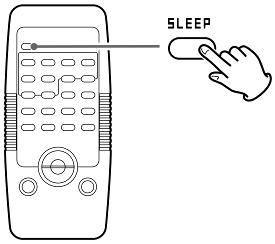


USBメモリーから選択したファイルが消去されます。

- 10秒以内に消去ボタン(ERASE)ボタンが押されないと、消去の操作はキャンセルされます

スリープタイマー

一定の時間が過ぎると電源をスタンバイ(オフ)にします。



スリープボタン(SLEEP)を繰り返し押します。
以下のように電源がスタンバイ(オフ)になる時間が変わります。

→15 → 30 → 45 → 60 → 90 → スリープタイマー オフ →(15に戻る)

- スリープタイマーが設定されている間は、ディスプレーが暗くなります。
- スリープ中にスリープボタン(SLEEP)を1回押すと、電源がスタンバイ(オフ)になるまでの残り時間が数秒間表示されます。

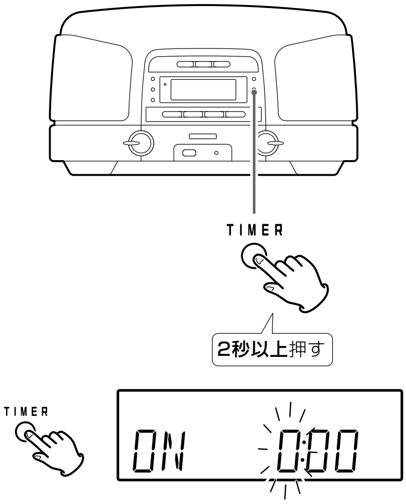
目覚まし/録音タイマー

設定した時間になると再生が始まる「目覚ましタイマー」、設定した時間になるとラジオからUSBメモリーへの録音が始まる「録音タイマー」の設定ができます。

● 目覚まし/録音タイマーを設定する前に、現在時刻を設定してください。(16ページ)

設定のしかた

1 タイマーボタン(TIMER)を2秒以上押し続ける。

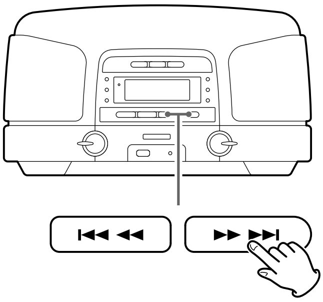


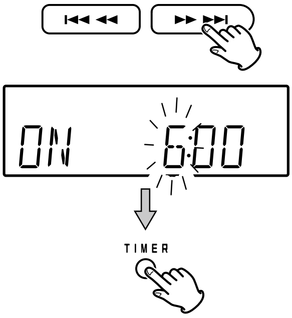
「ON」が点灯し、「時」表示が点滅します。

● 10秒以上放置すると、タイマー設定モードは解除されます。

2 (電源オン/録音開始時間の設定)

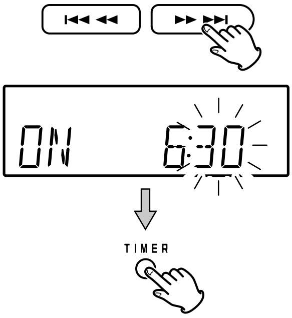
スキップボタン(⏮◀◀/▶▶⏭)を押して、開始時刻の「時」を合わせ、タイマーボタン(TIMER)を押す。





「分」表示が点滅します。

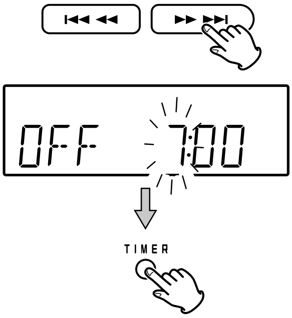
3 スキップボタン(⏮◀◀/▶▶⏭)を押して、開始時刻の「分」を合わせ、タイマーボタン(TIMER)を押す。



電源オン/録音開始の時間が設定されました。
「OFF」が表示され、「時」表示が点滅します。

4 (電源オフ/録音停止時間の設定)

スキップボタン(⏮◀◀/▶▶⏭)を押して、停止時刻の「時」を合わせ、タイマーボタン(TIMER)を押す。

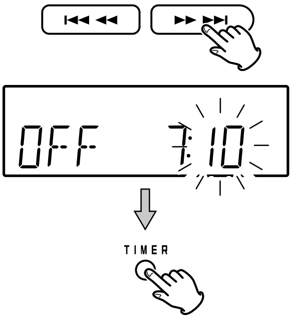


「分」表示が点滅します。

次のページに続きます

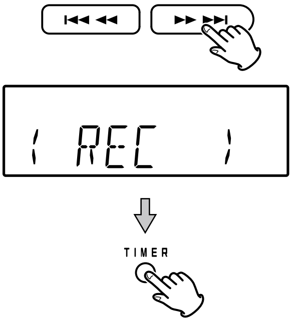
目覚まし/録音タイマー (続き)

5 **スキップボタン(⏮◀◀/▶▶⏭)を押して、停止時刻の「分」を合わせ、タイマーボタン(TIMER)を押す。**



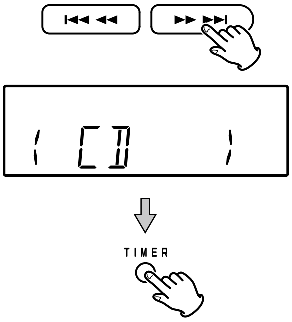
「PLAY」または「REC」が表示されます。

6 **(目覚まし/録音タイマーの選択)**
スキップボタン(⏮◀◀/▶▶⏭)を押して、目覚ましタイマーのときは「PLAY」、録音タイマーのときは「REC」を選び、タイマーボタン(TIMER)を押す。



再生/録音ソースが表示されます。

7 **(再生/録音ソースの選択)**
スキップボタン(⏮◀◀/▶▶⏭)を押して、再生/録音ソースを選び、タイマーボタン(TIMER)を押す。

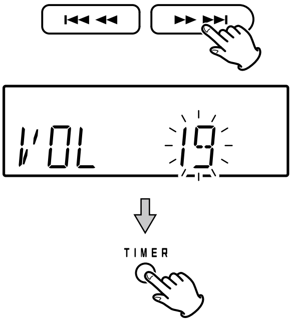


目覚ましタイマーの場合
「AUX」は設定できません。
電子音を鳴らすようにに設定するには、BUZZER(ブザー)を選んでください。

録音タイマーの場合
ラジオ(「FM」または「AM」)からの録音のみができます。「CD」「USB」「AUX」は設定できません。

音量設定画面が表示されます。

8 **(音量の設定)**
スキップボタン(⏮◀◀/▶▶⏭)を押して、音量を選び、タイマーボタン(TIMER)を押す。



「TIMER」インジケーターが表示され、タイマー設定モードに入る前の画面に戻ります。

9 **再生ソースなどを準備する。**

目覚ましタイマーの場合
再生ソースに「CD」が設定されているときは、ディスクをセットしてください。(セットされていない場合はラジオになります)
再生ソースに「USB」が設定されているときは、USBメモリーを接続してください。(接続されていない場合はラジオになります)
ソースにラジオ(FM/AM)が設定されているときは、聴きたい放送局を選局してください。

録音タイマーの場合
聴きたい放送局を選局し、録音するUSBメモリーを接続してください。

10 **電源ボタン(STANDBY/ON)を押して電源をスタンバイ(オフ)にする。**

電源がスタンバイ(オフ)になっていないと、タイマーは動作しません。

目覚まし/録音タイマーの設定が終了しました。

● 停電時や電源プラグからコンセントが抜かれたときにバックアップ用電池(11ページ)が切れていると、タイマー設定情報が消去されます。

● 電源オン/録音開始の時間になり、動作が始まると「TIMER」インジケーターが点滅します。

タイマーをオフにするには

目覚ましタイマー/録音タイマーを使いたくないときは、タイマーボタン(TIMER)を押してオフにしてください。ディスプレーに表示されていた「TIMER」インジケーターが消えます。

再度目覚ましタイマー/録音タイマーを使うときは、再びタイマーボタン(TIMER)を押してください。

ディスプレーに「TIMER」インジケーターが表示されます。

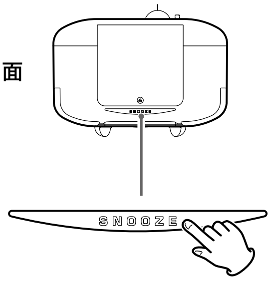
● タイマー再生/録音中にタイマーボタン(TIMER)を押すと、タイマーが解除され、電源オフ/録音停止の時間になっても電源オフ/録音停止しません。

● タイマーボタン(TIMER)を押して、タイマーをオンに切り換えると、ディスプレーに電源オン/録音開始の時間が数秒間表示されます。タイマーをオフに切り換えると、ディスプレーに電源オフ/録音停止の時間が数秒間表示されます。

スヌーズ機能

目覚ましタイマーで設定した時間になって電源がオン状態になった後、スヌーズ機能を使うことができます。

上 面



スヌーズボタン(SNOOZE)を押すと、電源を約5分間スタンバイ(オフ)状態(電子音、または目覚ましタイマー再生の停止状態)にすることができます。
この機能は繰り返し使えます。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。

一般

電源が入らない。

➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。差し込みが不完全ではないかを確認してください。

スピーカーから音が出ない。

➡ 入力切換ボタン(FUNCTION)を押して、入力ソースを選んでください。
➡ 音量を調節してください。
➡ ヘッドホン端子からヘッドホンのプラグを抜いてください。ヘッドホン端子の使用中は、本機のスピーカーからは音が出ません。
➡「MUTING」が表示されているときは、消音ボタン(MUTING)を押してください。

雑音がする。

➡ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

リモコンで操作できない。

➡ 電源ボタン(STANDBY/ON)を押して、本体の電源をオンにしてください。
➡ 電池が消耗していたら、新しい電池に交換してください。
➡ リモコンは本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できませんので、位置を調整してください。
➡ 本体の近くに強い光の照明がある場合は、照明を切ってください。

ラジオ

受信できない。受信状態が悪い。

➡ 放送局を選局してください。
➡ FM放送の受信状態が悪いときは、FMアンテナの向きを変えてみてください。
➡ AMアンテナは本体に内蔵されています。AM放送の受信状態が悪いときは、本体の向きを変えてみてください。マンションなどの鉄筋建物の内部ではうまく受信できません。本機を窓辺に移動してください。
➡ ラジオ受信中は、本機からUSBメモリーを抜いておいてください。雑音等の原因になる場合があります。

次のページに続きます ➡

FMで、ステレオ放送なのにモノラルになる。
➡ FMモードボタン(FM MODE)を押して、ステレオ受信に切り換えてください。

CDプレーヤー

再生できない。
➡ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
➡ ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。
➡ ファイナライズされていないCD-R/CD-RWは本機で再生できません。

音飛びがする。
➡ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 傷が付いたディスクは使わないでください。

MP3/WMAファイル

再生できない。
➡ ファイルの拡張子を確認してください。MP3ファイルの認識はファイル拡張子「.mp3」、WMAファイルの認識はファイル拡張子「.wma」で行います。
➡ MP3/WMAファイルが破損している可能性があります。
➡ ファイルのフォーマットを確認してください。本機で再生できるのは、MP3/WMAファイルです。(9ページ)

「NO USB」と表示され、USBメモリーを認識できない。
➡ USBメモリーをパソコンでフォーマットしてみてください。FAT情報が書き直されて、本機で認識できるようになることがあります。

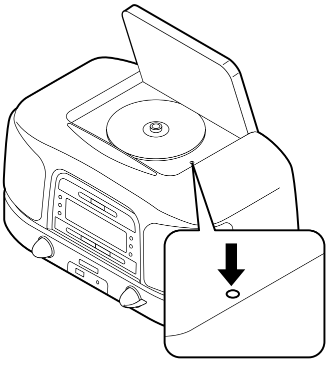
曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない。
➡ ファイルにID3タグが入っていません。パソコンなどでID3タグを編集したMP3/WMAファイルを作成し直してください。本機で録音したファイルにはID3タグは記録されません。

正しく表示されない文字がある。
➡ ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。

録音できない。
➡ USBメモリーに空き容量があるか確認してください。
➡ USBメモリーがロックされていないか確認してください。
➡ 外部入力機器からの録音の場合、録音レベル(録音の音量)は外部入力機器の出力音量によって決まります。本機では調節できませんので、試し録音をして、適切な録音レベルに調節してください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。
● このとき、時計、ラジオの放送局のプリセット、タイマーの設定情報は消去されますのでご注意ください。

以上の操作をしても正常な動作をしない場合は、ディスクカバーの下のリセットスイッチをボールペンの先などで1～2度軽く押してください。工場出荷状態に戻ります。



結露現象について
本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

仕　様

チューナー部

受信周波数
FM ········ 76.0MHz ～ 90.0MHz
AM ········ 522kHz ～ 1,629kHz

CDプレーヤー部

周波数特性 ········ 20Hz ～ 20kHz(±1.0dB)
ワウフラッター ········ 測定限界以下

USB部

対応USB機器 ········ USBマスストレージクラスデバイス
インターフェース ········ USB2.0(Full speed) USB1.1互換
ファイルシステム ········ FAT 12/16/32
USB出力電圧 ········ DC5V
USB供給電流 ········ 最大 500mA

USB 録音フォーマット

記録フォーマット ········ MP3
ビットレート ········ 128kbps
サンプリング周波数 ········ 44.1kHz STEREO

MP3/WMA 再生フォーマット

MP3
拡張子 ········ .mp3
ビットレート ········ 8ｋ～ 320kbps
サンプリング周波数 ········ 16ｋ～ 48kHz
対応規格 ········ MPEG-1/2 Audio Layer-3
WMA
拡張子 ········ .wma
ビットレート ········ 48 ～ 192kbps
サンプリング周波数 ········ 32、44.1、48kHz
対応規格 ········ Windows Media Audio Standard (DRM非対応)
最大フォルダー数 ········ 99
最大ファイル数 ········ 999

アンプ部

定格出力
フロント ········ 5W ＋ 5W
サブウーハー ········ 10W

スピーカー部

フロント
ユニット ········ 65mm × 2
インピーダンス ········ 4Ω
サブウーハー
ユニット ········ 80mm × 1
インピーダンス ········ 8Ω

一般

電源 ········ 100V AC、50-60Hz
消費電力 ········ 40W
外形寸法(幅、高さ、奥行) ········ 340 x 190 x 230mm
質量 ········ 4.8kg

付属品

リモコン(RC-1264)×1
リモコン用乾電池(単4)×2
バックアップ用コイン型リチウム電池(CR2032)×1
ステレオミニプラグケーブル×1
取扱説明書(本書)×1
保証書×1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

■保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

33ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：　故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代：　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
その他：　製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：ステレオCDラジオ　SL-D920
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的･物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

ティアック株式会社
〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　http://www.teac.co.jp/

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

市内通話料でOK ナビダイヤル
0570-000-701
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

市内通話料でOK ナビダイヤル
0570-000-501
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0610·MA-1598B